

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	コンプライアンス推進課
	施策	職員力の向上		電話番号	087-839-2155
	基本事業	人材の育成とコンプライアンスの推進		事業実施主体	市
	事務事業	コンプライアンス推進事務		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	高松市職員の倫理及び公正な職務の執行の確保に関する条例に基づき、内部公益通報や不当要求行為に対応することなどにより、職員の倫理及び公正な職務の執行の確保に努める。また、「新コンプライアンス推進施策」に基づき、職員の意識改革に主眼を置いた各種取組を進めるとともに、行政執行過程で生じる諸問題に対応するため、行政問題法律相談を実施するなど、職員のコンプライアンス意識や法的知識の向上に努め、不祥事の撲滅と市民の信頼回復、さらには市民サービスの向上に取り組んでいる。				
29年度概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種職員研修の実施</li> <li>行政問題法律相談の実施</li> <li>内部公益通報及び不当要求行為等への対応</li> <li>その他「新コンプライアンス推進施策」に基づく各種取組の推進</li> </ul>				
重点取組事業	市長マニフェスト	7-	事務事業の類型	内部管理事務	

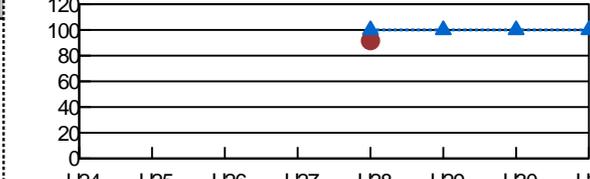
【事業の目的】

対象(何を)	全職員
意図(どのような状態にしたいか)	市職員としてのコンプライアンスについて理解した上で、職務を遂行する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
コンプライアンス推進施策において実施又は着手した施策数	施策			30	30	30

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
市職員としてのコンプライアンスを理解している職員の割合	%	目標値			100	100	100
		実績値			91.6		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 「新コンプライアンス推進施策」に基づき、職員の意識改革に主眼を置いた各種の取組を進めた結果、前年度に比べ、4.3ポイント上昇したものの、目標値の達成には至らなかった。 26年度: 85.1% 27年度: 87.3%		 (達成度) 91.6% 32点					
成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)		目標値					
		実績値					

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度(決算)	平成 27年度(決算)	平成 28年度(決算)	平成 29年度(予算)
トータルコスト	[千円]			28,735	28,968
(事業費)	[千円]			5,182	5,415
(職員人件費)	[千円]			23,553	23,553

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	改善継続
-------------	---	---------------------------	------

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

全職員を対象として、26年度から実施してきた「公務員倫理特別研修」については、昨年度をもって全日程が終了した。また、コンプライアンスアンケートの結果等を踏まえ、各職場における取組の強化や研修の更なる充実を図ることを目的に「新コンプライアンス推進施策」の一部を見直した。今後も、引き続き、全職員がコンプライアンス意識の向上に努めることができるような取組が必要である。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

29年2月に見直した「新コンプライアンス推進施策」に基づき、職員がコンプライアンスについて考える機会を増やすため、新たに、各局において、局内全職員を対象とする公務員倫理に係る研修を実施するほか、各所属におけるリスクマネジメント会議の活性化を図るなど、職員の意識改革に主眼を置いた取組を拡充して実施する。